

令和8年蔵王町議会定例会 1月会議

---

令和8年1月9日（金曜日）

---

出席議員（13名）

1番	平間 徹也 君	2番	宇田川 敬之 君
3番	佐藤 敏文 君	5番	藤澤 麻衣子 君
6番	葛西 清 君	7番	馬場 勝彦 君
8番	村上 正文 君	9番	今 千佳 君
10番	松崎 良一 君	11番	外門 清 君
12番	伊藤 雅代 君	13番	村上 一郎 君
14番	佐藤 長成 君		

---

欠席議員（なし）

---

説明のため出席した者

町 長	村上 英人 君
副 町 長	平間 喜久夫 君
総 務 課 長	鈴木 賢 君
まちづくり推進課長	川井 大文 君
町民税務課長	高橋 幸治 君
保健福祉課長	大槻 みちる 君
子育て支援課長	鹿島 亜希 君
農林観光課長	佐藤 敏彦 君
教 育 長	文谷 政義 君
教育総務課長	日下 光義 君

---

事務局職員出席者

事 務 局 長	佐藤 長也 君
事務局 長 補 佐	鈴木 直美 君

---

議事日程 第1号

令和8年1月9日（金曜日） 午後1時15分 開議

日程第 1 会議録署名議員の指名

日程第 2 会議日程の決定

日程第 3 諸般の報告

日程第 4 議案第2号 令和7年度蔵王町一般会計補正予算（第7号）

---

本日の会議に付した事件

議事日程のとおり

午後1時15分 開議

○議長（佐藤長成君） それでは、皆さん大変お疲れさまでございます。

午前中は賀詞交歓会ということで、皆さん大変お疲れさまでございました。

今日は1時15分から開会ということで、通常ですと議会は10時からと会議規則で定められておりますけれども、今回は、会議規則の必要があるときは、私の判断でこういう時間帯に開催できるということをしていただきました。全員出席で再開できますことを感謝申し上げたいと思っております。

今回の議案につきましては、皆さんご承知のとおり、この前、国の予算で令和7年度の補正予算で、12月の16日決定されました令和7年度の補正予算で、その中で物価高騰対策の一環として、今日は町でその取組について議案ということであります。蔵王町には1億7,000万円以上来ているということでもありますので、町民に対してそれを利用していただくということになりますので、どうぞ皆さん、慎重審議をしていただきますことをお願いし、一言、簡単ですがけれどもご挨拶とさせていただきます。

それでは、本日1月9日は休会の日ですが、議事の都合により、特に令和8年蔵王町議会定例会1月会議を再開いたします。

これより本日の会議を開きます。

ただいまの出席議員は13名であります。定足数に達しておりますから、議会は成立いたしました。

なお、本日の会議は会議規則第8条第2項の規定により、午後1時15分に開会することになりましたので、ご了承願います。

本日の議事日程はお手元に印刷配付のとおりであります。

日程に従い議事を進めます。

---

#### 日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（佐藤長成君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、会議規則第125条の規定により、3番佐藤敏文君、5番藤澤麻衣子君を指名いたします。

---

#### 日程第2 会議日程の決定

○議長（佐藤長成君） 続いて、日程第2、会議日程の決定を議題といたします。

お諮りいたします。本定例会1月会議の日程につきましては、別途お手元に配付のとおり、議案等の審議の関係上、本日1日間としたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（佐藤長成君） ご異議ありませんので、本定例会1月会議は本日1日間とすることに決しました。

---

### 日程第3 諸般の報告

○議長（佐藤長成君） 続いて、日程第3、諸般の報告をいたします。

本定例会1月会議に町長から議案第2号の1件が提出され、これを受理しておりますので、報告いたします。

次に、佐藤敏文君から仙南地域広域行政事務組合議会定例会の報告がありましたので、お手元に配付のとおりであります。

次に、本定例会1月会議に説明員として出席を求めた者の職、氏名については、一覧表としてお手元に配付のとおりであります。

次に、町長から挨拶の申出がありましたので、これを許します。町長。

〔町長 村上英人君 登壇〕

○町長（村上英人君） 議員の皆様、午前中ではありますが、今日、大変お忙しい中ではありますが、賀詞交歓会のほうにご出席を賜りまして、本当にありがとうございました。おかげさまで200名の方々がお集まりになって、今年の初めの交歓会になったところであります。本当にありがとうございました。

それでは、1月会議の開会に当たりまして一言御挨拶を申し上げます。

寒さの続く中ではありますが、議員の皆様にはお元気でお過ごしのこととお喜びを申し上げますとともに、ご自愛の上、ご活躍されますことをお祈り申し上げる次第であります。

さて、本町の冬山観光シーズンであります。間もなく最盛期を迎えようとしております町内の2つのスキー場ですが、えぼしとすみかわスノーパークですが、十分な積雪とは言えないものの、滑走は可能となっております。

また、例年1月下旬から2月の下旬にかけて、蔵王の樹氷も最盛期となりますが、国内外から多くのスキー客、そして、雪上車による樹氷鑑賞ツアー等にぎわい、町内の経済活動が活気づくことを心より願っているところであります。

ちょうど明日、あさって、この3日間、大分、特に日曜日あたりが大雪になるのではないかと

など、そういったことで、自然の雪が足りないので、この日曜日、月曜日に期待をかけていきたいなというふうに思っているところであります。

一方、この季節であります。これから春にかけては空気の乾燥が続く時期でもあります。通常よりも火災が発生しやすくなる季節でもあります。蔵王町ですが、昨年1年間で家屋5件を含む10件の火災が発生したところであります。

このような中であります。あさって11日の日曜日ですが、新年の始まりに、地域の安全や防災の意識を高めるため、消防団、交通指導隊、防犯実働隊の3団体参集の下、役場前駐車場を会場に3団体合同出初め式が行われます。今年1年が火災や大規模災害のない平穏な年になることを願うとともに、町民の皆様の安全のためにも、火災予防に努める必要性を改めて認識し、気を引締めてまいりたいと考えているところであります。

さて、本日の議会ですが、物価高騰対策対応重点支援地方創生臨時交付金をはじめとする令和7年度蔵王町一般会計補正予算（第7号）を議案として提出をさせていただきました。

議員の皆様におかれましては、それぞれの議案について慎重にご審議をいただきながら、町の発展と町民福祉の向上のため、何とぞ賢察の上、全議案とも可決決定くださいますようよろしくお願い申し上げます。私からの挨拶といたします。

○議長（佐藤長成君） 以上で諸般の報告を終わります。

---

#### 日程第4 議案第2号 令和7年度蔵王町一般会計補正予算（第7号）

○議長（佐藤長成君） 続きまして、日程第4、議案第2号令和7年度蔵王町一般会計補正予算（第7号）を議題といたします。

提出者から提案理由の説明を求めます。町長。

〔町長 村上英人君 登壇〕

○町長（村上英人君） ただいま上程されました議案第2号令和7年度蔵王町一般会計補正予算（第7号）について、提案の理由をご説明申し上げます。

本案は既定の予算の総額に歳入歳出それぞれ2億2,658万4,000円を追加し、予算の総額を96億357万1,000円にしようとするものであります。

今回の補正予算の主なものは、国の要請を受けて、子育て世帯に対して子供1人当たり2万円の物価高対応子育て応援手当を交付するほか、物価高騰対策対応重点支援地方創生臨時交付金事業として、町商工会を通じて、町民1人当たり1万5,000円及び低所得者世帯に1世帯当た

り5,000円を加算した生活応援商品券を配布する予算を計上したところであります。

また、学校給食食材の価格高騰に伴う賄材料費の増加分に臨時交付金を活用し、保護者の経済的負担軽減を図るため予算を計上しようとするものであります。

以上、提案の理由をご説明申し上げましたが、詳細につきましてはご質疑により、主管課長に答弁させますので、慎重にご審議の上、原案どおり可決決定くださいますようお願いを申し上げます。

○議長（佐藤長成君） 提案理由の説明が終わりましたので、これより質疑に入ります。

本案に対する質疑を許します。質疑ありませんか。1番平間徹也君。

○1番（平間徹也君） ありがとうございます。

この国から来た臨時交付金の使い道ですよね、簡単に言うと。なるべく商品券に使ったということは理解できました。この中でも、ちょっと一つ気になったのが、物価高騰対策スキー場無料シャトルバス運行補助金なんですけれども、これのちょっと詳しい事業の概要をちょっと説明してください。

○議長（佐藤長成君） 農林観光課長。

○農林観光課長（佐藤敏彦君） お答えいたします。

今回、令和7年度補正の閣議決定を踏まえまして、重点支援の基本的な考えが国から示されたところではございました。その推奨事業メニューということで、生活者支援、また、事業者支援と2本立てで支援するよということ、交付金の内示をいただいたところではございます。

この中の一つということ、まず無料シャトルバス、こちらにつきましては、町内2つのスキー場において、土曜、日曜、祝日、ふるさと文化会館から遠刈田温泉街、スキー場まで無料シャトルバス運行、こちらに対して補助金を交付して、町内小中学校のスキーヤーの足ということ確保しているところでございます。

こちら、内閣府、また国土交通省から、エネルギー価格、物価高騰の影響を受け、極めて厳しい経営環境に置かれている公共交通や観光事業者への支援ということ、こちら盛り返まれているところでございます。

今回、土曜、日曜、祝日運行の補助率、今まで2分の1だったのを今回3分の2ということ、支援を行い、物価高騰対策費に上乗せをさせていただいたところでございます。

以上でございます。

○議長（佐藤長成君） 1番平間徹也君。

○1番（平間徹也君） ありがとうございます。

上乘せするのはいいんですけども、ちょっと気になったのは、この資料だとちょっと分かりづらいいかな、もう1個確認するんですけども、臨時交付金、そもそもこの補助金の事業の金額は593万円だったんじゃないかなと、それ違うのかな、それとも、その3分の2かさ上げして593万円プラスになるのか、そもそもの金額が593万円で、1回交付金に振り替えて、一般財源を国費に振り替えて、その分、町の負担分としてと言えればいいのかな、違うかな、3分の2を事業者、3分の1を町という形になったのか、ちょっとそこが金額、そのお金の流れが見えなかったものなので、ちょっとこのお金の流れのところをもうちょっと説明していただきたいですけれども。

○議長（佐藤長成君） 農林観光課長。

○農林観光課長（佐藤敏彦君） お答えいたします。

8ページ目、観光費の中の負担金補助及び交付金、こちらのほうで、スキー場無料シャトルバス運行補助金、町の一財におきまして2分の1の補助を行おうと計画していたところでございます。今回の物価高騰対策費を活用させていただきまして、こちらの一般財源の分を減額いたしまして、新たに8目の物価高騰対策費の負担金補助及び交付金の中に盛り込んだところがございますけれども、当初2分の1と計画していたところを減額いたしまして、今度3分の2の補助を行うということで、新たに計上させていただいたところがございます。

金額的には、こちらのほうの資料のとおり445万5,000円、これを減額いたしまして、593万5,000円を計上、148万円が今回上乘せでの補助というような形になりますけれども、この593万5,000円につきましては、全額交付金で賄うことになります。

以上でございます。

○議長（佐藤長成君） 1番平間徹也君。

○1番（平間徹也君） そうなると、もともと町の一財で2分の1補助をしていたのに、交付金を使って3分の2にただけで、何か物価高対策として出すのは分からなくもないんですけども、町の一財として別に3分の2まで引き上げ、445万円から593万円ですから、150万円を町の一財で出せばよかったんじゃないかなと私は思うんですけども、なぜそのように考えなかったのかということと、やっぱりあくまで物価高騰対応重点支援臨時交付金ですから、何かスキー場も大変なのは分かるんですけども、スキー場、バスの代金が3分の2補助したからといってスキー場の売上げが上がるかというところとちょっと、なかなかそうは考えられないのかなと私思ったものですから、それは町の一財で3分の2にかさ上げしてあげて、出し

て、やっぱりこういう物価高騰対応支援重点、こういう物価高で来た国の交付金に関しては、やっぱりなるべく直接町民に行くような形にすべきだったんじゃないかなと私は考えたんですけども、そういうふうには考えなかったんでしょうか。

○議長（佐藤長成君） 農林観光課長。

○農林観光課長（佐藤敏彦君） こちらのスキー場無料シャトルバスにつきましては、スキー場の売上げどうのこうのではなくて、あくまでも無料シャトルバスの運行、町内の小中学生の足の確保、また、雪道の運転が不安なスキーヤーの足の確保ということで行っている事業でございます。こちらのほうにつきましては、基本的には昨年度の経費なんですけれども、690万円、昨年は690万円でした。これが今年度の経費になりまして、890万円と200万円増額の負担になったというところでございました。

今回の補正を行いますと、148万円の支援増額ということになりますので、今回実施すると決めたところでございます。

ただ、今回この支援を行うことによって、昨年の経費からの負担増額分の支援にもつながりますけれども、町財源、そちらのほうの支出も抑えるというような内容にもなっておりますので、ご理解願いたいと思います。

○議長（佐藤長成君） 別件、1番平間徹也君。

○1番（平間徹也君） ありがとうございます。

町の台所が苦しいのも分かるので、ある一定は理解しますけれども、148万円何とか、一財で出すべきだったなと考えたので質問させていただきました。

別件ですので、この事業者支援事業補助金の内容もちょっとこれ、結構1,000万円と大きくて、どういった事業者に対してどのような具体的に助成金、補助金のメニューなのかというのがちょっと見えなかったものなので、ここもちょっと説明していただければ。

○議長（佐藤長成君） 農林観光課長。

○農林観光課長（佐藤敏彦君） お答えいたします。

こちらのほうにつきましては、中小企業等に対するエネルギー価格高騰対策支援として、エネルギー価格高騰による事業者の負担を、商工会及び観光物産協会の会費相当額を補助することで間接的に支援を行うということで実施を行うものでございます。

商工会453事業者、また、観光物産協会83事業者のほうで会費を納めている、その分を補助するような形での支援ということで提案させていただきました。

○議長（佐藤長成君） 1番平間徹也君。

○1番（平間徹也君） ありがとうございます。

ちょっと今、説明聞いてちょっと思ったんですけども、それって何か逆に商工会と物産協会の会員にだけ、まあ公で結構人数もいますけれども、その人だけが有利というか、むしろその商工会と観光物産協会に対する補助金なんじゃないかなと、実質上、と私は感じてしまうんですけども、そういった意図ではなくて、あくまでやっぱり、まあ観光物産協会に入っている人と商工会に入っている人の会費を自動的にゼロ円にするという考え方でこの予算を組んだということになるんでしょうか。

○議長（佐藤長成君） 農林観光課長。

○農林観光課長（佐藤敏彦君） こちらにつきましては、まず協働事業、また地域貢献活動、協働で行っている事業者、そちらのほうの支援にもつながるということで今回計上させていただいたところでございます。

一度、令和7年度会費を頂いておりますけれども、その分を、今回のこの補助金で支援するような形を考えているところでございます。

○議長（佐藤長成君） 1番平間徹也君。

○1番（平間徹也君） 分かりました。

ちょっと私の感覚とは全然違うなと思ったので、ただただ会費を町で負担しただけの事業になってしまうんじゃないかという懸念があったので、ちょっと指摘というか、質問させてもらって、逆にもう1個付け加えて聞きたいのは、観光業者のための、今回、物価高騰対策は出しているのは見えるんですけども、やっぱり農業と観光のまち蔵王町にとって、農業に対する、農業事業者に対するメニューがちょっと書いていないように思えるんですけども、この辺の話は出なかったのか、検討しなかったのか、その辺ちょっと教えてもらえれば。

○議長（佐藤長成君） 農林観光課長。

○農林観光課長（佐藤敏彦君） お答えいたします。

こちらの推奨事業メニューでは、生活者支援、また事業者支援、その中にも農林水産業費における物価高騰対策という内容のメニューも盛り込まれているところでございます。

これまで地方創生臨時交付金、こちらのほうを活用してきた流れですけれども、まず農業、畜産業におきましては、令和4年9月に農畜産農家に対して63事業者、7,100万円の支援、また令和5年6月には、農業経営体、こちら451経営体のほうに2,200万円の支援と、行ってきたところでございます。

また、昨年の7月にも、畜産の農家支援ということで、57事業者に飼料等価格高騰対策費ということで730万円ほどを計上させていただいて、今、支援を行っているところでございます。

町民に対しては、生活応援商品券ということで、今、行って、3回ほど過去にも行っておりますけれども、今回も計上させていただいております。

そのほかにも各事業者におかれましては、直接補助金や災害等発生したときの支援などもずっと行ってきているところでございます。

今回こちらの交付金を活用するに当たりましては、いろいろ考えたところ、農政のほうでもどういう支援が必要か考え、検討も行われたところでございます。ただ、町の主要作物であります米、また、果樹につきましては、今年といたしますか令和7年度、収量、また価格とも順調だったということで、また畜産におかれましても、宮城県が配合飼料を取り扱う関係団体を介しまして支援を実施しております。また、光熱動力費高騰対策事業としても、みやぎの酪農農業協同組合とか、ほかの2団体とかを介しまして、酪農経営者に対して支援をしているということで、昨年の4月にも、今回の物価高騰でも支援も上げておりますので、今回は、全町民、また国とか国土交通省からも要請がありました運行関係の、そちらのほうの支援ということで今回行うということで提案させていただいているところでございます。

○議長（佐藤長成君） 別件ですか。1番平間徹也君。

○1番（平間徹也君） ありがとうございます。

確かにいろいろ、ハウスのビニールの風で飛んだやつとかに対して上乘せでした分とか、一般財源でというのなので、町としては業、確かにやってきたから今回はということなんだということが理解できました。確かに米の高騰もありましたし、そのバランスを取ったんだなというのは。

ただ、でも一応やっぱり農業と観光の町なので、農業の面に何か1つ、2つぐらいあったらうれしかった、農業事業者としてちょっと考えていただけたらなと思ったものですから、その質問をさせえてもらいました。すみません。

別件で、この児童福祉施設物価高騰対策支援金の内容、30万円なんですけど、これがちょっとどういったものなのか、ちょっと詳しく知りたかったんですけども。

○議長（佐藤長成君） 子育て支援課長。

○子育て支援課長（鹿島亜希君） お答えいたします。

町内の児童福祉施設及び子育て支援に関する事業支援を行っている施設を対象に、光熱水費

に係る経費の一部を負担しましょうということで、民間の認可外保育所、2施設あるんですけども、そちらに対し1施設10万円、それから、事業支援をしている施設に対して、1事業5万円ということで、そちらは2施設ございますので、合計30万円の支援をしようとするものでございます。

○議長（佐藤長成君） 1番平間徹也君。

○1番（平間徹也君） 分かりました、意味が。

これまでもコロナ対策費とかから、やっぱり国費なのに、公立の子育て施設に対しては割と手厚く負担があったりとか、施設整備において金額が下りてきているけれども、認可外には下りていないじゃないかということ、今までも質問、私、してきたんですけども、その一部がやっぱり当局で、当局というか町長に響いて、このように認可外施設に対しても、町の公益を守る、子供たちは財産ですからね、本当に、町全体で育てていかなければいけないというその気持ちがやっぱり町長に伝わったのかなと、私は思ったんですけども、やっぱりこのように国費もね、やっぱり民間に使うのはなかなか難しい部分ではあると思うんですけども、やっぱり町の子供たちをこれまで、町長、預かってきた施設であるのは、町長の答弁からも明らかだと思うので、これからもこのように、国費が出たときには認可外の子供施設に対しても助成なり補助の目をかけていただきたいなと思うんですけども、町長、何か一言いただけるとうれしいんですけども。

○議長（佐藤長成君） 町長。

○町長（村上英人君） そのように捉えていただければ私もうれしいのでありますので、ありがとうございます。

○議長（佐藤長成君） ほかに質疑ありませんか。8番村上正文君。

○8番（村上正文君） まず8ページですね、商工費の中の物価高騰対策費の委託料ということで、これは生活応援商品券の配布事業委託料ということで、今回の臨時交付金のほとんどの部分がここに費やされるというふうなことでございます。

中身的には、1人当たり1万5,000円分の商品券を配るというふうなことになります。

それで、昨年末から新聞等で、県内の各市町の対応状況が記事として載ってきているわけですが、私が見た限りでは、隣の川崎町の1万8,000円に次ぐ高額な商品券の配布計画だというふうに見ております。

実は、1年前は1人当たり3,000円ということで、隣接市町に比べて非常に見劣りがするというふうに私は質疑をした記憶があるわけですが、今回、その5倍の金額を設定したという

ふうなことで、非常に町民からすればありがたいなど、物価高騰の折、非常に助かるなどというふうな感じになるかと思いますが、前年度から比べて5倍という思い切った金額を設定した、その辺の考えについてまず伺っておきたいと思います。

○議長（佐藤長成君） 町長。

○町長（村上英人君） 特に今回、1億7,000万円からの国のほうから参ったわけでありまして、いろんな市町村、いろんな考え方を持っています。ただ、現金で配ると、どうしても町外のほうに現金が流れていったり、またあと、よそで、町外で買物もするだろうということもありました。そして、町の補助に当たっては、このところにメニューあるように、できるだけ抑えて、1人1万5,000円ぐらいやれるように、そこから逆算で、どうしても最低でもやらなければいけないところを今回載せて、あくまでも生活応援、あとはこの物価高、生活応援イコール物価高であります。それにあと、今、冬を、特に寒さを迎えているので、少しでも暖かい部屋で過ごしていただくためにも、石油等、そういった買い出しに地元から消費させたいということで、できるだけ2月上旬ぐらいに販売というか、各家庭に配られるようにしてほしいということで指示を出したところであります。

そういった観点から考えさせていただきましたので、ご理解賜ればというふうに思っております。

○議長（佐藤長成君） 8番村上正文君。

○8番（村上正文君） ありがとうございます。

生活重視というふうなことで考えた結果の対策という説明をいただきました。

それで、今回の補正予算が認められれば、実際に配布作業のほうに移ると思いますけれども、スケジュール的にどんな見込みで進むのか。今、町長は2月上旬ぐらいから使えるようにというふうなお話もあったわけですが、そのスケジュール的なものについて説明をいただきたいと思います。

○議長（佐藤長成君） 農林観光課長。

○農林観光課長（佐藤敏彦君） お答えいたします。

今現在、加盟店募集の事前準備を進めているところでございます。2月上旬から中旬にかけて全世帯に配布を行いまして、使用期間を2月の20日から6月の30日までの使用期間ということで考えているところでございます。店舗数につきましては、昨年度と大体同じくらいになるかと思いますが、150店舗で使えるような形になります。

以上でございます。

○議長（佐藤長成君） 8番村上正文君。

○8番（村上正文君） ありがとうございます。

速やかに使えるように準備をしていくというふうなことでございますが、それで、昨年度も商品券はA券、B券というふうなことで、2種類で区分けをしたという記憶がございます。今回の商品券については、額面ですとか、A券、B券、そういったものについてどのような考えをお持ちなのか伺いたいと思います。

○議長（佐藤長成君） 農林観光課長。

○農林観光課長（佐藤敏彦君） お答えいたします。

基本的には昨年度と同様、A券、B券、両方を用意すると。A券につきましては、町内の全店舗で使える、大型店でも使える共通券ということになります。こちらにつきましては、1枚1,000円の5枚として5,000円分、また、地元資本店舗限定のB券、こちらにつきましては1万円ということで、合わせて1万5,000円の商品券を配布する予定になっております。

○議長（佐藤長成君） 別件でどうぞ。8番村上正文君。

○8番（村上正文君） 別件でお願いいたします。

6ページ、民生費の中の一番下の項目になりますが、負担金補助及び交付金210万円ということで、医療機関等物価高騰対策支援金でございます。

まず、この内容について説明をいただきたいと思います。

○議長（佐藤長成君） 保健福祉課長。

○保健福祉課長（大槻みちる君） お答えいたします。

今回の医療機関等物価高騰対策支援金でございますが、医療機関等の物価高騰に伴う負担軽減を図るために支援金を支給するものでございます。

中身につきましては、医療機関が10万円、それから薬局5万円、そして介護事業所、それから障害サービス事業所につきまして、1事業当たり5万円という形で支給するというところで考えております。

よろしくお願いたします。

○議長（佐藤長成君） 8番村上正文君。

○8番（村上正文君） ありがとうございます。

この医療機関等への支援金については、前年度はメニューの中にはなかったわけでございます。今回新たに計上されたということで、医療機関、それから薬局なり福祉事業所にとっては非常に助かるのかなというふうに思いますが、近隣の、例えば柴田町の例を取りますと、

柴田町は24万円で診療所のほうには交付を予定していると。実は柴田町は昨年度も診療所については24万円を交付しているということなんですね。それで、仙南エリアのお医者さん方が集まる会合がありますと、そこでいろいろと情報交換がなされる。それで、柴田町はそういうふうに支援されているんだけど、昨年度は蔵王町はなかったというふうなことに、まずなっております、私のほうにも医談会の先生からそういったお話が聞こえてきました。

今年度、計上はしていただいたんですけども、やはり金額的に見ると、例えば柴田町に比べると大分、半額以下というふうなことになるので、仙南のお医者さん方の会合なんかでも、またそういったことが話題になるのかなというふうに感じます。

それで、この10万円という診療所について、10万円というふうな金額の考え方でございますけれども、もう少し金額を上げて支援をするというふうな考えなり検討がなかったのかどうか、そのあたりお伺いをしたいと思います。

○議長（佐藤長成君） 保健福祉課長。

○保健福祉課長（大槻みちる君） お答えいたします。

今回の金額につきましては、この医療機関等に対する支給ということで、白石市が既にやるという方向で決めておまして、白石市医師会の中で統一しようということで、蔵王町も白石市と同様に金額を設定したところでございます。

よろしくお願いたします。

○議長（佐藤長成君） 8番村上正文君。

○8番（村上正文君） 医師会が同じというふうなことで、白石と蔵王とで足並みをそろえたというふうなことで理解はするわけですが、白石市はなぜ10万円というふうな金額で設定したというような、そういった事前の確認とか、そういった話し合いはなかったのか。白石市がこうだからもう横並びで蔵王町も10万円というふうな形になったのか、そのあたりについてちょっとお伺いをしたいと思います。

○議長（佐藤長成君） 保健福祉課長。

○保健福祉課長（大槻みちる君） お答えいたします。

今回の金額設定につきましては、細かく積算、光熱費が幾らかかるかだとかという細かい積算をしているわけではございませんが、白石市が最初にこの金額を提示してきたというところと、あと蔵王町でも、以前、令和5年度、それから令和4年度も同様に医療機関等への支援金、行っております。そちらも同様の金額でしたので、今回も白石市に倣って今回の金額

と設定させていただいたところでございます。

よろしく願いいたします。

○議長（佐藤長成君） ほかに質疑ありませんか。10番松崎良一君。

○10番（松崎良一君） 確認だけになるかもしれませんが、6ページの高速バス運行維持対策補助金ということで、150万円ほど、国県支出金のほうからもあって、今回計上されておりますけれども、これの内容、こういった背景とか実情があってこういった形の支援を行っていくものなのか、その辺についてお伺いしておきたいと思います。

○議長（佐藤長成君） まちづくり推進課長。

○まちづくり推進課長（川井大文君） ただいまの質問にお答えいたします。

内容につきましては、燃料が値上がりし高止まりする状況下におきましても、町から恒常的な補助金を受けずに運行を継続している高速バス、その運行に対して、今回の国の交付金を活用して補助金を交付して継続運行を支援しようとするものでございます。

○議長（佐藤長成君） 10番松崎良一君。

○10番（松崎良一君） 理解いたしました。

これまで本当に厳しい中、頑張ってきておられますので、何らかの形でこういった支援というのが確かに今後維持していく中では有効なのかなというふうに理解いたしました。

別件でよろしいでしょうか。

○議長（佐藤長成君） 別件どうぞ。10番松崎良一君。

○10番（松崎良一君） 今回の7ページの物価高騰対策の子育て応援手当並びに低所得者ひとり親支援臨時給付金ということで上がってございますが、こういった、人数等も含めて、これらを考えてこういった計上になったものなのか、それについて、詳細についてお伺いしておきたいと思います。

○議長（佐藤長成君） 子育て支援課長。

○子育て支援課長（鹿島亜希君） お答えいたします。

まず物価高対応子育て応援手当のほうですが、こちらは今回の重点交付金とはまた別に、国からの直下型の交付金としまして、国から直接、町のほうに補助があるものでございます。令和7年9月30日時点の児童手当支給対象児童ということで1,260名おります。それから、令和7年10月1日から令和8年3月31日までに出生する子も計算しまして、約想定20名、それから予備20名ということで、合計40名を足しまして、1,300名見込まれるということで、1児童当たり2万円支給しますので、2,600万円の予算を計上しているものでございます。

それから、低所得のひとり親の支援の給付金のほうでございますが、こちらも県からの直下型の10分の10の補助がもらえるということで、児童扶養手当受給者、こちらのほうに1世帯1万円を支給するものでございます。こちらの対象世帯が78世帯ございます。それから、児童扶養手当を受給していないひとり親世帯、52世帯おりますが、そちらのひとり親世帯にも1世帯1万円を支給しようとするもので、そちらも52万円の予算計上としているものでございます。

以上です。

○議長（佐藤長成君） 10番松崎良一君。

○10番（松崎良一君） 詳細な答弁いただきましてありがとうございます。

今後これ、支給に当たってどのような方法で行っていくものなのか、やはり今の時代に合った形も考えられるかと思うんですけれども、これまでの従来の形での支給方法にとどめて行っていくものなのか、その辺についてお伺いしておきたいと思います。

○議長（佐藤長成君） 子育て支援課長。

○子育て支援課長（鹿島亜希君） お答えいたします。

本日の補正が可決しましたら、ホームページ、広報等で十分な周知をいたしまして、基本的に口座番号とか児童手当、それからひとり親世帯も把握しておりますので、基本的にはプッシュ支給ということで考えております。スピーディーに、丁寧に支給を考えております。3月下旬までには支給を予定しておりますので、しっかりと事務の準備に取りかかりたいというふうに考えております。

○議長（佐藤長成君） 10番松崎良一君。

○10番（松崎良一君） ありがとうございます。

大変ニュース等でも知られている内容でもございますので、この辺の支給についてはやっぱりスピーディーに行っていただきたいなというふうに思いましたので、質疑をさせていただきました。

もう一つ別件よろしいでしょうか。

○議長（佐藤長成君） 別件どうぞ。10番松崎良一君。

○10番（松崎良一君） 8ページの学校給食共同調理場費ということで、今回、国県支出で30万円、総体的には72万円というふうになってございますけれども、金額的にはさほど、前にも行った内容とあまり変わらないなというような感じもちょっと受けましたので、この辺のところ、どうやっぱりこうした物価、食料品等が上がっている中で、どう充当させて、その効

果を生み出していくものなのか、その辺の考え方についてお伺いしておきたいと思います。

○議長（佐藤長成君） 教育総務課長。

○教育総務課長（日下光義君） お答えいたします。

今、ご質問にありましたとおり、総額を見れば、ほかの支援と比べるとちょっと控え目かなというところではありますが、今回、積算に当たりまして、賄材料費、給食1食当たり20円を上乗せするための計上ということにしております。

こちらの賄材料費の支援につきましては、以前の7月にも議会でお認め頂いておりますが、そのときも20円を上乗せするという対応をさせていただいております。

ただ、7月の時点で、物価の高騰の状況を見ますと、給食には欠かせない米と牛乳だけで20円に近いぐらいの上昇の状況が見受けられたということで、その後、調理場においても何とかやりくりをしながら給食を提供してきたわけですが、今般またさらに物価の高騰が続いているということもありますので、今回、このような物価高騰に対する交付金が頂けるということがありましたので、賄材料費、1月から3月分について、さらに支援をしていこうということで今回計上させていただいたものであります。

以上です。

○議長（佐藤長成君） 10番松崎良一君。

○10番（松崎良一君） ありがとうございます。

前回に引き続き、同様の、同額といいますか、そうした計上をしたということでございます。

なかなか賄材料、あるいはそうしたものが高くなっていく中で、やっぱり子供たちの食事というか、給食がどんどん細くなっていくような感じもしておりますので、この後はやっぱりもうちょっとこうした形について手厚くして、子供たちが喜んで昼食を食べられるような、そんな内容が含まれればありがたいなど、このように感じましたので、質疑をさせていただきました。

以上で終わります。

○議長（佐藤長成君） ほかに質疑ありませんか。13番村上一郎君。

○13番（村上一郎君） それでは、先ほど松崎議員が質疑されました高速バスの関係の補助金でありますけれども、もう少し中身を確認したいと思いますけれども、150万円の補助額を計算した理由といいますか、それは、燃料代の高騰ということで、一生懸命頑張っている高速バスですので、補助したいという150万円を計上したということの課長の説明ありましたけれど

も、年末だったんですけれども、年末に遠刈田温泉からきつね村までの高速バスからの乗換えで運行して、3か月間試行期間を設けて運行したいという、そんな記事がございました。それで、これと何か関係あるのかなという今回のこの対策をちょっと考えたりもしたんですけれども、その辺との運行に対する考え方、関連はないのかどうか、ちょっと確認したいと思います。

○議長（佐藤長成君） まちづくり推進課長。

○まちづくり推進課長（川井大文君） お答えいたします。

今、議員のご質問ありましたが、きつね村からのことは今回の補助には関係はしてございません。あくまで今回は燃料の高騰でありますとか、あと乗客も年々減っているというような状況もございまして、町からの補助は出していないんですけれども、経営は悪化していると、経費がかさんでいるというような状況でございますので、そこに対して、この高速バス、蔵王町から直通で仙台市まで行ける唯一の公共の乗り物でありますので、そういった点を考慮して補助を考えたものでございます。

○議長（佐藤長成君） 13番村上一郎君。

○13番（村上一郎君） 分かりました。

記事の中で、蔵王町と町観光物産協会がきつね村の社長から提案されて計画立てたということに載っていたものですから、今回と関連あるのかなとふと思ったんですけれども。当然、遠刈田温泉からきつね村までの運行で、それに蔵王町が補助するのはちょっと合致しないんだなという気はあったんですけれども、ちょっと関連してあるのかどうかちょっと確認をさせていただきます。

高速バスの運行、大変便利な仙台市までの直行バスということで、何度か私たちも利用はしていたんですけれども、当然、蔵王町だけの町民のバスの足の確保ではなくて、村田町民のほうもやっているんですよ。結構乗っていらっしゃいますので、その辺、今回蔵王町だけに限っての150万円でしょうけれども、当然こういうのは村田町との両方の共同の支援でやはり高速バスを維持できるような形で取り組んでいくべき課題かなと思っております。

ですから、これは村田町といろいろ協議なんかも含めて支援していくべきではないのかなというふうに思ったものですから、ちょっと質疑をいたしました。お願いします。

○議長（佐藤長成君） 町長。

○町長（村上英人君） 村上一郎議員がおっしゃるとおりでありまして、蔵王町と村田町、大沼町長と直接話をしながら、そして、こういうときこそ国のこういったものを活用できるとき

に少しでも、言ってみれば負担1円もしていないんですよ、交通部分に当たっては。路線に当たっては、皆さんご存じのとおり。そういったことで、村田町と蔵王町が同額で助成をさせていただいたところであります。村田町が100万円、蔵王町がちょっと距離的なものもありますし、150万円ということであります。

○議長（佐藤長成君） ほかに質疑ありませんか。（「なし」の声あり）

それでは、ほかに質疑がありませんので、これをもって質疑を終結いたします。

続いて、討論に入ります。最初に原案反対の方の発言を許します。討論ありませんか。

（「なし」の声あり）討論なしと認めます。

これより直ちに採決をいたします。

お諮りいたします。本案は原案のとおり決することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（佐藤長成君） ご異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

以上をもって本日の日程は全部終了いたしました。

本日はこれをもって散会いたします。

大変お疲れさまでございました。

午後2時08分 散会

---

上記会議の次第は、事務局長の記載したものであるが、内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。

議 会 議 長            佐 藤 長 成

署名議員3番           佐 藤 敏 文

署名議員5番           藤 澤 麻 衣 子